

平成 27 年 7 月 16 日

地盤工学会関東支部 平成 27 年度 第 2 回会員 SG 幹事会議事録

日時 : 平成 27 年 4 月 27 日(月) 15:00～

出席予定者 : 10 名

鈴木 亮彦	○	田中 剛	○	荒井 郁岳	○	亀井 秀一	×	佐々木 隆光	×
立石 亮	×	槌谷 勝之	○	三上 武子	○	堀 智仁	○	山中 光一	○
長谷川 圭介	○	武田 陽	○	太田 秀樹	×	重村 智	○		

■ 確認事項

- 1) 前回議事録の確認

■ 検討事項

- 2) 若手技術者交流会 (担当 : 佐々木, 亀井, 槌谷, 堀)

- ・今年度のテーマは地盤改良とする。
- ・昨年度はディスカッションの時間が少なかったなので, 進行を工夫する必要がある。
例えば、事前に意見を聞いておいて, ディスカッションを中心にする。
- ・司会, パネラーは未定だが, パネラーは実務の方に担当してもらいたい。
- ・参加費については, 収支を合わせるのであれば社会人を 1,500 円, 学生を 1,000 円にしてもいいかもしれない。
- ・パネリスト案
 施工(地盤改良の方法) : 三信建設工業
 調査(地盤改良に関する調査) : 川崎地質
 一般(地盤改良の種類) : 今後検討
- ・日程は, 第一候補 10 月 28 日(水), 第二候補 10 月 21 日(水)とする。

- 3) 支部交流会 都内を歩く企画 (担当 : 太田先生, 鈴木)

- ・新たな企画として, 都内を歩きながら土地の由来などを知るツアーを計画しており, 新宿の淀橋浄水場跡地などの下調べを行った。
- ・四谷に新宿区歴史博物館という施設があり, ここの協力が得られれば, 過去の歴史などの講義をしていただけるかもしれない。

- ⇒ 水道橋にも水道に関する博物館があるようである。
- ・人数が多すぎると問題。15人程度が適正か。
- ・過去の同様な企画では、ルートの中での説明ができずに歩くだけになった。
 - ⇒ リーフレットなどを作成して、あらかじめ見どころを伝えておくのがいいのではないか。
 - ⇒ 古い地図と新しい地図を渡して、チェックポイントを設けて、歩いてもらう形式がいいのではないか(チェックポイントに SG メンバーが立っているようにすれば、参加人数が増えても大丈夫になる)。
 - ⇒ 参加者の確認のために腕章等の目印を用意する必要がある。
- ・日程は 11 月 28 日か 12 月 5 日とする(土曜日開催)。
- ・企画について、今後さらに検討を進める。

4) ソイルストラクチャーコンテスト (担当：三上, 荒井, 山中, 長谷川, 武田)

- ・会場となる日大の予定を確認する必要がある。昨年度は 11 月 29 日に開催した。第一希望日を 11 月 14 日とし、山中先生に確認してもらおう。この日がダメであれば再度連絡をもらう。
- ・今年度もテーマは液状化とする。
- ・昨年度の反省も踏まえ、ルール設定を検討する。禁止事項を明確にして、抜け道を減らす。まったく抜け道がないと面白さがなくなるので、ある程度は工夫の余地を残す。
- ・不飽和を避けるために、あらかじめ土槽は作成しておいて渡す方法や、水中落下法に統一するなどの案が考えられる。
- ・沈下量ではなく水圧を指標にすると分かりやすいかもしれない(ピトー管方式もいいのではないか)。
- ・液状化対策に使用する材料は、あまり大きなものは用意しない(着底しないようにする)。
- ・競技時間を短くできれば進行がスムーズになるので、工夫の余地がある。

5) 現場見学会(持ち込み企画：南本牧処分地)

- ・海洋工業株式会社から JGS 関東支部に現場見学会の提案があった。
- ・会員 SG で企画化できるか検討して欲しいとのこと。
- ・観光バスを借りると 15 万円程度かかるのではないか。50 名の参加者で割り、保険

代を含めると一人 3000 円以上になるので, 参加者が集まるか不安である。

- ・ 10 月以降は会員 SG の行事も多いので, 今回はお断りする。

6) アフター5談話会 (担当 : 佐々木, 亀井, 槌谷, 堀)

- ・ 会員 SG の中からでも聞きたい内容があれば, 今後リクエストをして欲しい。

■ その他

- ・ 次回幹事会は9月 25 日 (金) 15:00～ (運営委員会は 9 月 10 日の予定)
- ・ それまでに各企画の担当者と相談して, 企画案を詰めていく。